

平成 28 年 5 月 12 日

各 位

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長 西尾啓治

平成 28 年 3 月期 決算短信発表にあたり

平成28年3月期のわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続いたしました
が、海外経済に弱さがみられることから、景気が下押しされるリスクがあり、
先行きは不透明な状況が続いております。個人消費はおおむね横ばいとなっ
ておりますが、食品業界においては、原材料価格の高騰等に伴い物価が高止まり
する中で、個人の消費支出に節約する動きもみられます。

このような経営環境下、当期においては、「雪印メグミルクグループ中期経
営計画（平成26年度～平成28年度）」に基づき、需要の拡大と競争力の強化に
取り組み、チーズやヨーグルトなどの主力商品の拡売、生産性の向上によるロ
ーコストオペレーションの実現、ならびに販売価格の見直しによるコストアッ
プへの対応等により収益性向上に努めました。特に、機能性表示食品制度を活
用し当社保有の乳酸菌「ガセリ菌S P株」の訴求に重点的に取り組み、ヨーグ
ルトの売上が大きく伸長いたしました。そのほか、デザート売上が好調に推
移したこともあり、製品構成が改善され、飲料・デザート類セグメントの黒字
化を実現いたしました。

その結果、当期の連結売上高は5,783億円（前期比105.2%）、連結営業
利益は140億円（前期比149.3%）と増収増益となりました。また、阿見工場
に生産移管を終えた旧関西チーズ工場および旧横浜チーズ工場の跡地を売却し
たことによる固定資産売却益の計上などにより、親会社株主に帰属する当期純
利益は150億円（前期比382.7%）となり、大幅な増益となりました。

平成29年3月期は、現在推進中の中期経営計画の最終年度にあたります。引
き続き、事業構造改革の継続による収益性の向上と積極的なマーケティング活
動を通じた成長分野の事業拡大等に取り組み、次なる成長のための基盤固めを
着実に行なってまいります。そして、当社グループの有する機能を最大限活用
し、グループシナジーを創出していくことで、目標営業利益150億円を達成
してまいります。

また、役職員一同、引き続き、コンプライアンスと品質管理の徹底を図り、
CSR経営を積極的に推進してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し
上げます。

以 上